# 第３章　自然環境の保全

## 第１節　自然環境の概況

本市は、北部の甘木山から東部は稲荷山（いなりやま）、上徳山（うわとくやま）、大間山（だいまやま）、三池山（みいけざん）、高取山（たかとりやま）等の標高 180m から 388mの低山地帯が連なり、隈川、堂面川、大牟田川、諏訪川の二級河川が、東部の低山地帯から西部の有明海へと流れ込んでいます。臨海部には干潟が見られるほか、有明海上には、初島、三池島の人工島があります。また、市街地の中心部にある延命公園は、身近に親しめる貴重な自然とのふれあいの場となっています。

気候は温暖帯に区分され、自然植生は常緑広葉樹を主体とした照葉樹林帯に属します。また、市内各所の寺社や宅地の庭には、古くから市民に親しまれ、都市の良好な景観を形成している樹木等が見られます。これらは自然環境の保全上重要な価値があり、平成 27 年度の調査では、84 本の巨木（保存樹に指定してあるものの中で幹の周辺が３m以上の樹木等）が確認されています。

地質は、新生代古第三紀層の地層が重なって分布しており、石炭産業が繁栄した本市では、古第三紀層の七浦層からたくさんの石炭が採掘されました。古第三紀層の地層の成り立ちをじかに見ることのできる貴重な稲荷層（とうかそう）や米の山層の露頭があり、また動植物の化石が多く認められる勝立化石層などが存在しています。

## 第２節　貴重な動植物等

ここで紹介するのは、本市に生息する全国で個体数や種が減少し絶滅等が危惧されている貴重な動植物の一部です（この他にも多くの希少種が生息しています）。

**○ニッポンバラタナゴ**

コイ目コイ科。絶滅危惧Ⅰ類（環境省レッドデータブック）。全長５㎝、淡水二枚貝の中に卵を産みつける。水草の多い所、砂泥底や泥底を好み、池沼などに生息している。

**○センベイアワモチ**

異鰓目ドロアワモチ科。絶滅危惧Ⅰ類（環境省レッドデータブック）。全長４㎝、汽水域のヨシ原に近い泥干潟や転石の下などにすむ。生息環境である河川等の汽水域の開発による消失などで個体数が激減している。

**○ベニアジサシ**

チドリ目カモメ科。絶滅危惧Ⅱ類（環境省レッドデータブック）。夏鳥としてオーストラリアから奄美・沖縄諸島に渡来・繁殖し鹿児島県の馬毛島が北限とされていたが、94 年に三池島で発見され、三池島が繁殖地の北限であることが確認された。

## 第３節　自然環境調査及び保全

本市には、豊かな自然が多く残されているものの、宅地開発や生活排水の流入等の人間活動によって自然環境の変化や生物種の喪失が危惧されています。また、国外や国内の他地域から意図的・非意図的に外来種が導入されることにより、在来種に様々な影響が生じています。

本市では、自然環境の保全を重要な課題の一つと位置付け、自然環境に関する調査を実施し、自然環境保全の基礎資料としています。

### １　自然環境調査

本市では、平成 11、12 年度に全市的な自然環境調査を行い、報告書を出しています。

その報告書以降は、本市の自然環境データの蓄積、自然環境変化のモニタリングとして、平成 15 年度から毎年度、対象地域を決定し、グリーンセンサス（定期的な自然環境調査）を行っています。

これまでに実施した調査地域は**表 3-3-1** のとおりです。調査結果は、自然環境保全の基礎資料とするとともに市民の啓発に資するため、報告書にまとめて、市の情報公開センターで公表するとともに市のホームページでも公開しています。

**表 3-3-1　調査地域**

| 年度 | 調 査 地 域 |
|---|---|
| 15 | 堂面川水系白銀川 |
| 16 | 三池島 |
| 17 | ホタル生息地、岬地区塩性湿地、旧三池海水浴場 |
| 18 | 三池山 |
| 19 | 延命公園（片平山） |
| 20 | 甘木山 |
| 21 | 三塚山、高取山 |
| 22 | 大間山 |
| 23 | 櫟野地区、上内地区 |
| 24･25 | 諏訪川河口区域、岬町塩性湿地区域 |
| 26 | 四ケ地区 |
| 27 | 稲荷山地区 |
| 28 | 黒崎公園・隈川河口域地区 |
| 29-30 | 三池山 |

大牟田市自然環境調査報告書

### ２　自然環境の保全

#### （１）　開発行為に対する意見等

都市計画法に基づく開発行為について、開発事業が自然環境に与える影響を最小化するため、開発を行う者に対して、自然環境の保全を図るよう意見書による指導を行っています。

#### （２）　自然観察用マップ「大牟田の自然」の配布

本市は、山、川、海と自然に恵まれた地域で、様々な生き物が生息しています。そこで、市民に自然環境に目を向けてもらうため、どこにどのような生き物が生息しているかを記したマップを希望者に配布しています。

大牟田の自然

### （３）　その他の保全施策

#### ア　鳥獣保護区

野生鳥獣の保護繁殖を図ることを目的として、本市においては、次の２区域を県が鳥獣保護区として指定し、狩猟による鳥獣の捕獲を禁止しています（**表 3-3-2**）。

**表 3-3-2　鳥獣保護区の内容**

| 鳥獣保護区名称 | 面積 | 期間 | 鳥獣生息状況 |
|---|---|---|---|
| 甘木山<br>鳥獣保護区 | 555ha | 平成 24 年 11 月 15 日から<br>平成 34 年 11 月 14 日まで | （鳥類）カイツブリ、ゴイサギ、メジロ、コゲラ等<br>約 34 種<br>（獣類）ノウサギ、タヌキ、イノシシ等 |
| 三塚山<br>鳥獣保護区 | 585ha | 平成 23 年 11 月 15 日から<br>平成 33 年 11 月 14 日まで | （鳥類）カイツブリ、ツグミ、メジロ、ダイサギ等約 27 種<br>（獣類）ノウサギ、タヌキ、イノシシ等 |

#### イ　野生鳥獣保護モデル校

県では野生鳥獣の保護活動等に積極的に取り組んでいる小・中学校を対象に「野生鳥獣保護モデル校」の指定をしています。本市では大牟田中央小学校が指定校となっています。（平成 29～33 年度）

#### ウ　「緑の基本計画」に基づく施策の展開

緑は、良好な景観を形成し、都市の気象緩和や生物の生息・生育空間の保全に資するとともに、身近に親しめる自然とのふれあいの場など多様な機能を有しています。

本市では、平成 12 年度に緑が持つ機能の重要さを認識し、緑を市民共有の財産として守り育んでいくために、緑を守る、緑をつくる、緑と共に生きるを基本方針とする「緑の基本計画」を策定しました。

平成 30 年度は、この実施計画に掲げる緑化施策として、緑化啓発イベントである「よみがえる水と緑の環境フェア」を開催し緑化意識の高揚を図りました。

また、緑豊かで快適な都市環境を確保するために「大牟田市緑化の推進及び樹木等の保存に関する条例」に基づき、115 本（平成 30 年度末現在）の保存樹の指定を行うとともに「まちの美緑花（みりょくか）ボランティア制度」などを活用し、市民との協働による都市景観の向上に努めました。

環境保全に関する資料

１　大気 ･････････････････････････････････････････････････････････ 64
（１）　自動測定機による大気環境測定結果･････････････････････････････ 64
（２）　降下ばいじん測定結果･････････････････････････････････････････ 66
（３）　浮遊粉じん中の重金属測定結果･････････････････････････････････ 66
（４）　有害大気汚染物質測定結果･････････････････････････････････････ 67
（５）　大気汚染防止法に基づく届出状況･････････････････････････････････ 68
２　ダイオキシン類特別措置法に基づく届出状況･････････････････････････ 68
３　水質 ･････････････････････････････････････････････････････････ 69
（１）補助地点における河川の水質調査結果･････････････････････････････ 69
（２）流入水路（生活排水）の水質調査結果･････････････････････････････ 71
（３）大牟田エコタウン雨水調整池調査結果･････････････････････････････ 71
４　浄化槽 ･････････････････････････････････････････････････････ 72
（１）　浄化槽受理基数の推移･････････････････････････････････････････ 72
（２）　補助実績（合併処理浄化槽）の推移･････････････････････････････ 72
（３）　保守点検登録業者一覧･････････････････････････････････････････ 72
（４）　清掃業許可業者一覧･････････････････････････････････････････ 72
（５）　指定検査機関･････････････････････････････････････････････････ 72
５　騒音・振動･････････････････････････････････････････････････････ 73
（１）騒音規制法に基づく特定施設の届出状況･････････････････････････････ 73
（２）振動規制法に基づく特定施設の届出状況･････････････････････････････ 73
（３）福岡県公害防止等生活環境の保全に関する
　　条例に基づく騒音に係る特定施設の届出状況･････････････････････････ 73
（４）騒音規制法及び振動規制法に基づく特定建設作業の届出状況･････････ 74
（５）自動車騒音･道路交通振動測定結果･････････････････････････････････ 74
（６）自動車騒音面的評価結果･････････････････････････････････････････ 75
（７）一般地域の環境騒音測定結果･････････････････････････････････････ 76
６　環境保全に関する主な出来事･････････････････････････････････････ 76

## 1　大気

### （1）　自動測定機による大気環境測定結果

#### ア　二酸化硫黄

（平成 30 年度）

| | 有効測定日数 | 測定時間 | （年）平均値 | 1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合 | | 日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合 | | 1時間値の最高値 | 日平均値の２％除外値 | 日平均値が0.04ppmを超えた日が２日以上連続したことの有無 | 環境基準の長期的評価による日平均値が0.04ppmを超えた日数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 日 | 時間 | ppm | 時間 | % | 日 | % | ppm | ppm | 有・無 | 日 |
| 国設大牟田 | 362 | 8668 | 0.001 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.029 | 0.004 | 無 | 0 |
| 三川 | 364 | 8626 | 0.002 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.030 | 0.005 | 無 | 0 |
| 新地 | 365 | 8703 | 0.003 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.034 | 0.005 | 無 | 0 |
| 七浦 | 364 | 8643 | 0.002 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.033 | 0.005 | 無 | 0 |
| 橘 | 365 | 8688 | 0.002 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.035 | 0.005 | 無 | 0 |
| 勝立 | 364 | 8645 | 0.002 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.032 | 0.004 | 無 | 0 |

#### イ　二酸化窒素

（平成 30 年度）

| | 有効測定日数 | 測定時間 | （年）平均値 | 1時間値の最高値 | 1時間値が0.2ppmを超えた時間数とその割合 | | 1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数とその割合 | | 日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合 | | 日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合 | | 日平均値の98%値 | 98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 日 | 時間 | ppm | ppm | 時間 | % | 時間 | % | 日 | % | 日 | % | ppm | 日 |
| 国設大牟田 | 362 | 8626 | 0.008 | 0.072 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.020 | 0 |
| 三川 | 364 | 8687 | 0.007 | 0.056 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.017 | 0 |
| 新地 | 365 | 8654 | 0.012 | 0.067 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.3 | 0.027 | 0 |
| 橘 | 364 | 8690 | 0.006 | 0.042 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.013 | 0 |
| 勝立 | 364 | 8690 | 0.006 | 0.042 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.012 | 0 |
| 不知火 | 365 | 8643 | 0.011 | 0.069 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.024 | 0 |

#### ウ　一酸化窒素・窒素酸化物

（平成 30 年度）

| | 有効測定日数 | 測定時間 | （年）平均値 | 1時間値の最高値 | 日平均値の98%値 | 平均値における $NO_2/(NO+NO_2)$ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 日 | 時間 | ppm | ppm | ppm | % |
| 国設大牟田 | 362 | 8626 | 0.004<br>0.012 | 0.288<br>0.343 | 0.020<br>0.039 | 67.1 |
| 三川 | 364 | 8687 | 0.001<br>0.008 | 0.132<br>0.147 | 0.008<br>0.025 | 82.0 |
| 新地 | 365 | 8654 | 0.008<br>0.020 | 0.164<br>0.210 | 0.034<br>0.060 | 59.9 |
| 橘 | 364 | 8690 | 0.001<br>0.007 | 0.045<br>0.071 | 0.003<br>0.016 | 87.5 |
| 勝立 | 364 | 8690 | 0.001<br>0.007 | 0.061<br>0.103 | 0.004<br>0.016 | 86.6 |
| 不知火 | 365 | 8643 | 0.007<br>0.017 | 0.296<br>0.331 | 0.025<br>0.045 | 62.1 |

※　上段：一酸化窒素　下段：窒素酸化物

## エ　一酸化炭素　（平成 30 年度）

| | 有効測定日数 | 有効測定時間 | （年）平均値 | 8時間値が20 ppm を超えた回数とその割合 | | 日平均値が10 ppm を超えた日数とその割合 | | 1時間値の最高値 | 日平均値の２％除外値 | 日平均値が10 ppmを超えた日が２日以上連続したことの有無 | 環境基準の長期的評価による日平均値が10ppm を超えた日数 | 1時間値が30ppm以上となったことがある日数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 日 | 時間 | ppm | 回 | % | 日 | % | ppm | ppm | 有・無 | 日 | 日 |
| 国設大牟田 | 362 | 8629 | 0.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3.6 | 0.5 | 無 | 0 | 0 |
| 不知火 | 365 | 8724 | 0.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2.1 | 0.5 | 無 | 0 | 0 |

## オ　浮遊粒子状物質　（平成 30 年度）

| | 有効測定日数 | 有効測定時間 | （年）平均値 | 1時間値が0.20mg/m$^3$を超えた時間数とその割合 | | 日平均値が0.10mg/m$^3$を超えた日数とその割合 | | 1時間値の最高値 | 日平均値の２％除外値 | 日平均値が0.10 mg/m$^3$を超えた日が２日以上連続したことの有無 | 環境基準の長期的評価による日平均値が0.10mg/m$^3$を超えた日数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 日 | 時間 | mg/m$^3$ | 時間 | % | 日 | % | mg/m$^3$ | mg/m$^3$ | 有・無 | 日 |
| 国設大牟田 | 363 | 8730 | 0.016 | 1 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.213 | 0.036 | 無 | 0 |
| 三川 | 364 | 8742 | 0.022 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.118 | 0.045 | 無 | 0 |
| 新地 | 364 | 8709 | 0.021 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.093 | 0.045 | 無 | 0 |
| 七浦 | 361 | 8659 | 0.020 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.109 | 0.044 | 無 | 0 |
| 橘 | 362 | 8685 | 0.020 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.107 | 0.042 | 無 | 0 |
| 勝立 | 365 | 8747 | 0.019 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.102 | 0.042 | 無 | 0 |
| 不知火 | 365 | 8703 | 0.021 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.098 | 0.049 | 無 | 0 |

## カ　微小粒子状物質　（平成 30 年度）

| | 有効測定日数 | 有効測定時間 | （年）平均値 | 日平均値の最高値 | 日平均値が35.0μg/m$^3$を超えた日数とその割合 | | 1時間値の最高値 | 日平均値の98%値 | 98%値評価による日平均値が35.0μg/m$^3$を超えた日数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 日 | 時間 | μg/m$^3$ | μg/m$^3$ | 日 | % | μg/m$^3$ | μg/m$^3$ | 日 |
| 国設大牟田 | 362 | 8706 | 14.9 | 46.5 | 3 | 0.8 | 64 | 32.0 | 0 |
| 新地 | 362 | 8686 | 16.1 | 42.0 | 9 | 2.5 | 69 | 35.4 | 2 |

## キ　光化学オキシダント　（平成 30 年度）

| | 昼間測定日数 | 昼間測定時間 | 昼間の1時間値の年平均値 | 昼間の1時間値が 0.06ppm を超えた日数と時間数 | | 昼間の1時間値が 0.12ppm 以上の日数と時間数 | | 昼間1時間値の最高値 | 昼間の日最高1時間値の平均値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 日 | 時間 | ppm | 日 | 時間 | 日 | 時間 | ppm | ppm |
| 国設大牟田 | 365 | 5443 | 0.034 | 78 | 364 | 0 | 0 | 0.104 | 0.048 |
| 三川 | 349 | 5133 | 0.034 | 79 | 362 | 0 | 0 | 0.101 | 0.049 |
| 七浦 | 365 | 5458 | 0.033 | 80 | 372 | 0 | 0 | 0.106 | 0.048 |
| 橘 | 365 | 5461 | 0.034 | 88 | 419 | 0 | 0 | 0.100 | 0.049 |
| 勝立 | 365 | 5464 | 0.033 | 67 | 310 | 0 | 0 | 0.098 | 0.047 |

※　昼間：午前５時から午後８時までの間（６時から 20 時までの１時間値が評価対象となる。）

### ク　炭化水素　（平成 30 年度）

| | | | | 午前６時から９時までの３時間における | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 測定時間 | 項目 | （年）平均値 | 測定日数 | （年）平均値 | ３時間平均値の最高値 | ３時間平均値の最低値 | ３時間平均値が0.20ppmCを超えた日数とその割合 | | ３時間平均値が0.31ppmCを超えた日数とその割合 | |
| | 時間 | | ppmC | 日 | ppmC | ppmC | ppmC | 日 | % | 日 | % |
| 国設大牟田 | 8570 | $CH_4$ | 1.93 | 355 | 1.96 | 2.13 | 1.78 | 16 | 4.5 | 2 | 0.6 |
| | 8570 | NMHC | 0.07 | | 0.09 | 0.42 | 0.00 | | | | |
| | 8570 | THC | 2.00 | | 2.05 | 2.49 | 1.79 | | | | |
| 七浦 | 7678 | $CH_4$ | 1.92 | 321 | 1.94 | 2.13 | 1.78 | 55 | 17.1 | 5 | 1.6 |
| | 7678 | NMHC | 0.10 | | 0.13 | 0.72 | 0.02 | | | | |
| | 7678 | THC | 2.02 | | 2.07 | 2.70 | 1.81 | | | | |
| 不知火 | 8673 | $CH_4$ | 1.88 | 365 | 1.91 | 2.09 | 1.74 | 45 | 12.3 | 5 | 1.4 |
| | 8673 | NMHC | 0.11 | | 0.13 | 0.43 | 0.05 | | | | |
| | 8673 | THC | 1.99 | | 2.04 | 2.44 | 1.80 | | | | |

※　$CH_4$：メタン、NMHC：非メタン炭化水素、THC：全炭化水素

※　単位：ppmC は炭化水素類の濃度をメタン濃度に換算したもの。（例：１ppmC のプロパン（$C_3H_8$）は３ppmC となる）

### ケ　気象観測結果　（平成 30 年度）

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 年間 | 月平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 降雨量（mm） | 117.0 | 139.5 | 276.5 | 484.0 | 32.0 | 329.0 | 50.5 | 43.0 | 109.0 | 23.5 | 92.0 | 111.0 | 1807.0 | 150.6 |
| 風向　主風向(16方位) | SE | N | N | W | ESE | N | NNW | N | NNW | WNW | N | N,WNW | N | — |
| 風向　頻度（%） | 15.1 | 14.2 | 14.9 | 14.5 | 13.6 | 21.5 | 15.8 | 20.3 | 20.8 | 13.6 | 18.8 | 11.4 | 14.2 | — |
| 平均風速（m/S） | 2.5 | 2.5 | 2.2 | 2.5 | 2.6 | 2.1 | 2.1 | 1.4 | 1.8 | 1.7 | 2.0 | 2.3 | 2.1 | — |
| 平均温度（℃） | 18.0 | 21.4 | 24.9 | 30.0 | 31.2 | 25.5 | 19.4 | 14.1 | 9.6 | 7.5 | 9.2 | 12.1 | 18.6 | — |
| 平均湿度（%） | 67.1 | 72.6 | 78.2 | 76.2 | 70.1 | 80.7 | 71.7 | 75.0 | 73.7 | 69.8 | 70.6 | 68.0 | 72.8 | — |

※　国設大牟田局調べ

### （２）　降下ばいじん測定結果　（平成 30 年度）

| 調査地点 | 用地地域 | 降下ばいじん量 | | | ｐＨ | EC |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 総量 | 不溶性 | 水溶性 | | |
| 国設大牟田 | 商業 | 1.85 | 0.45 | 1.39 | 5.1 | 1.8 |
| 新地 | 第1種住居 | 2.31 | 0.70 | 1.60 | 6.3 | 3.1 |
| 平　均 | | 2.08 | 0.58 | 1.50 | 5.7 | 2.5 |

※　単位：降下ばいじん量＝t/km²/月、ｐＨ＝無単位、ＥＣ(電気伝導度)＝mS/m

※　測定方法：膜ろ過水を 1000ml 添加した高密度ポリエチレン製広口びんを 1 カ月間放置する半湿式法（大牟田独自の測定方法）

### （３）　浮遊粉じん中の重金属測定結果（ハイボリウムエアサンプラー法）（平成 30 年度）

| 調査地点 | 浮遊粉じん | カドミウム | 鉛 | 亜鉛 |
|---|---|---|---|---|
| 国設大牟田 | 93 | 0.0005 | 0.012 | 0.12 |
| 新地 | 40 | 0.0010 | 0.025 | 0.32 |

※　単位：μg/m³

※　定量下限値　：カドミウム（0.000047）、鉛（0.00240）、亜鉛（0.00465）

## （４）　有害大気汚染物質測定結果　（平成 30 年度）

| No | 測 定 項 目 | 環境基準等 | 単位 | 一般環境 | 固定発生源周辺 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 国設大牟田 | 新地 | 三川 | 七浦 |
| 1 | アクリロニトリル | 2.0 | μg/m$^3$ | 0.017 | － | － | － |
| 2 | アセトアルデヒド | | μg/m$^3$ | 3.6 | － | － | － |
| 3 | 塩化ビニルモノマー | 10 | μg/m$^3$ | 0.081 | － | － | － |
| 4 | 塩化メチル | | μg/m$^3$ | 1.5 | － | － | － |
| 5 | クロム及びその化合物 | | ng/m$^3$ | 1.1 | － | － | － |
| 6 | 六価クロム化合物 | | ng/m$^3$ | 0.14 | | | |
| 7 | クロロホルム | 18 | μg/m$^3$ | 0.21 | － | － | － |
| 8 | 酸化エチレン | | μg/m$^3$ | 0.075 | － | － | － |
| 9 | 1,2-ジクロロエタン | 1.6 | μg/m$^3$ | 0.22 | － | － | － |
| 10 | ジクロロメタン | 150 | μg/m$^3$ | 3.2 | － | － | － |
| 11 | 水銀及びその化合物 | 40 | ng/m$^3$ | 2.9 | 1.9 | 2.4 | 2.3 |
| 12 | ダイオキシン類 | 0.6 | pg-TEQ/m$^3$ | 0.028 | 0.020 | － | － |
| 13 | テトラクロロエチレン | 200 | μg/m$^3$ | 0.026 | － | － | － |
| 14 | トリクロロエチレン | 130 | μg/m$^3$ | 0.024 | － | － | － |
| 15 | トルエン | | μg/m$^3$ | 29 | 17 | 21 | 34 |
| 16 | ニッケル及びその化合物 | 25 | ng/m$^3$ | 1.0 | － | － | － |
| 17 | ヒ素及びその化合物 | 6.0 | ng/m$^3$ | 0.48 | － | － | － |
| 18 | 1,3-ブタジエン | 2.5 | μg/m$^3$ | 0.035 | － | － | － |
| 19 | ベリリウム及びその化合物 | | ng/m$^3$ | 0.0067 | － | － | － |
| 20 | ベンゼン | 3.0 | μg/m$^3$ | 0.97 | 0.92 | 1.04 | 1.05 |
| 21 | ベンゾ（a）ピレン | | ng/m$^3$ | 0.16 | － | － | － |
| 22 | ジベンゾ（a,h）アントラセン | | ng/m$^3$ | 0.016 | － | － | － |
| 23 | ベンゾ（b）フルオランテン | | ng/m$^3$ | 0.23 | － | － | － |
| 24 | ベンゾ（k）フルオランテン | | ng/m$^3$ | 0.092 | － | － | － |
| 25 | インデノ（1,2,3-c,d）ピレン | | ng/m$^3$ | 0.14 | － | － | － |
| 26 | ジベンゾ（a,e）ピレン | | ng/m$^3$ | 0.017 | － | － | － |
| 27 | ジベンゾ（a,h）ピレン | | ng/m$^3$ | 0.079 | － | － | － |
| 28 | ジベンゾ（a,i）ピレン | | ng/m$^3$ | 0.0038 | － | － | － |
| 29 | ジベンゾ（a,l）ピレン | | ng/m$^3$ | 0.0018 | － | － | － |
| 30 | ベンゾ（e）ピレン | | ng/m$^3$ | 0.18 | － | － | － |
| 31 | ベンゾ（j）フルオランテン | | ng/m$^3$ | 0.11 | － | － | － |
| 32 | ベンゾ（a）アントラセン | | ng/m$^3$ | 0.12 | － | － | － |
| 33 | クリセン | | ng/m$^3$ | 0.29 | － | － | － |
| 34 | ホルムアルデヒド | | μg/m$^3$ | 3.7 | 2.9 | 2.1 | － |
| 35 | マンガン及びその化合物 | 140 | ng/m$^3$ | 6.6 | － | － | － |
| 36 | 2-ブロモプロパン | | μg/m$^3$ | 0.0037 | － | － | － |
| 37 | ベンゾトリクロライド | | ng/m$^3$ | 0.077 | － | － | － |
| 38 | ナフタレン | | ng/m$^3$ | 75 | － | － | － |

※　国設大牟田局のデータは、環境省有害大気汚染物質モニタリング結果より転記

※　クロム及び三価クロム化合物については、現時点で測定が困難なため、当面、クロム及びその化合物の全量（クロム換算値）を測定する

※　ダイオキシン類は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき実施

## （５） 大気汚染防止法等に基づく届出状況　　（平成 31 年 3 月 31 日現在）

| | 項 | 特定施設の種類 | 大気汚染防止法 | | 電気事業法 | | 県公害防止条例 | | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 工場 | 事業場 | 工場 | 事業場 | 工場 | 事業場 | |
| ばい煙発生施設等 | 1 | ボイラー | 40 | 32 | 8 | | 8 | 34 | 122 |
| | 3 | 金属製錬・無機化学工業品製造用(No.14該当施設を除く)焙焼炉・焼結炉・ペレット焼成炉・煆焼炉 | 1 | | | | | | 1 |
| | 5 | 金属製錬・鋳造用溶解炉 | 10 | | | | | | 10 |
| | 6 | 金属の製造・熱処理加熱炉 | 3 | | | | | | 3 |
| | 9 | 窯業製品製造用焼成炉・溶融炉 | 5 | | | | | | 5 |
| | 10 | 無機化学工業品・食料品製造用反応炉・カーボンブラック製造用燃焼装置、直火炉 | 11 | | | | | | 11 |
| | 11 | No.14該当施設を除く乾燥炉 | 10 | 4 | | | | | 14 |
| | 12 | 製銑・製鋼・合金鉄・カーバイド製造用電気炉 | 2 | | | | | | 2 |
| | 13 | 廃棄物焼却炉 | 1 | 5 | | | | | 6 |
| | 14 | 銅、亜鉛精錬用焙焼炉、焼結炉、ペレット焼成炉、溶鉱炉、溶鉱用反射炉、転炉、溶解炉、乾燥炉 | 9 | | | | | | 9 |
| | 19 | 化学製品製造用塩素反応施設、塩化水素反応施設、塩化水素吸収施設 | 11 | | | | | | 11 |
| | 29 | ガスタービン | | | 1 | 4 | | | 5 |
| | 30 | ディーゼル機関 | | 19 | 8 | 22 | | | 49 |
| | 31 | ガス機関 | | | 2 | | | | 2 |
| | | ばい煙発生施設等施設合計 | 103 | 60 | 19 | 26 | 8 | 34 | 250 |
| | | ばい煙発生施設等設置工場等数 | 26 | 27 | 9 | 21 | 8 | 22 | 113 |
| 排出施設 VOC | 3 | 塗装の用に供する乾燥施設(吹付塗装及び電着塗装に係るものを除く) | 1 | | | | | | 1 |
| | | VOC排出施設合計 | 1 | | | | | | 1 |
| | | VOC排出施設設置工場等数 | 1 | | | | | | 1 |
| 一般粉じん発生施設 | 2 | 鉱物、コークス、土石の堆積場 | 11 | 18 | | | | | 29 |
| | 3 | 鉱物、土石、セメント用ベルトコンベア、バケットコンベア | 46 | 5 | | | | | 51 |
| | 4 | 鉱物、岩石、セメント用破砕機、摩砕機 | 14 | | | | | | 14 |
| | 5 | ふるい機 | | 1 | | | | | 1 |
| | | 一般粉じん発生施設等合計 | 71 | 24 | | | | | 95 |
| | | 一般粉じん発生施設等設置工場等数 | 5 | 6 | | | | | 11 |
| 水銀排出施設 | 1 | ボイラー(燃焼能力10万L/h未満で、石炭専焼のものを除く) | | | 2 | | | | 2 |
| | 2 | ボイラー(前項に掲げるもの以外) | | | 2 | | | | 2 |
| | 5 | 銅、亜鉛精錬用溶解炉のうち二次製錬施設 | 9 | | | | | | 9 |
| | 7 | セメント用焼成炉 | 1 | | | | | | 1 |
| | 9 | 廃棄物焼却炉 | | 5 | | | | | 5 |
| | | 水銀発生施設等合計 | 10 | 5 | 4 | | | | 19 |
| | | 水銀発生施設等設置工場等数 | 3 | 3 | 3 | | | | 9 |

※　項の欄の数字はそれぞれ、大気汚染防止法施行令別表第１（ばい煙発生施設）、別表第１の２（ＶＯＣ排出施設）、別表第２（一般粉じん発生施設）、大気汚染防止法施行規則別表第３の３（水銀排出施設）の上欄の番号を表す

※　電気事業法に規定される電気工作物及びガス事業法に規定されるガス工作物に係るばい煙発生施設等は電気事業法の欄に示す

※　「福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例」の規定に基づくばい煙発生に係る特定施設（小型ボイラー）は県公害防止条例の欄に示す

## ２　ダイオキシン類対策特別措置法に基づく届出状況　　（平成 31 年 3 月 31 日現在）

| | 号 | 特定施設の種類 | 施設数 |
|---|---|---|---|
| 大気基準適用施設 | 3 | 亜鉛回収用焙焼炉、焼結炉、溶鉱炉、溶解炉、乾燥炉 | 3 |
| | 4 | アルミニウム合金製造用焙焼炉、溶解炉、乾燥炉 | 1 |
| | 5 | 廃棄物焼却炉　４ｔ/ｈ以上 | 1 |
| | | 廃棄物焼却炉　２ｔ/ｈ以上４ｔ/h未満 | 4 |
| | | 廃棄物焼却炉　２ｔ/ｈ未満 | 1 |
| | | 特定施設数　合計 | 10 |
| | | 工場・事業場数　合計 | 6 |
| 水質基準対象施設 | 2 | カーバイド法アセチレンガス洗浄施設 | 1 |
| | 13 | 亜鉛回収施設 | 9 |
| | 16 | 廃棄物焼却炉の廃ガス洗浄施設、湿式集じん施設、灰の貯留施設 | 1 |
| | | 特定施設数　合計 | 11 |
| | | 工場・事業場数　合計 | 3 |

※　号の欄の数字はそれぞれ、ダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第一（大気基準適用施設）、別表第二（水質基準対象施設）の番号を表す

## 3　水質

### （１）補助地点における河川の水質調査結果　（平成 30 年度）

| 河川名 | | 堂面川水系　白銀川 | | | | | | 隈川 | | | | | | 環境基準値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地点名（類型） | | 新高田橋　(A) | | | | | | 亀崎橋　(A) | | | | | | |
| 項目名 | | 平均値 | 75%値 | 最小 | ～ | 最大 | m/n | 平均値 | 75%値 | 最小 | ～ | 最大 | m/n | A類型 |
| 生活環境項目 | ｐＨ（水素イオン濃度） | 7.3 | | 7.0 | ～ | 8.1 | 0/6 | 7.0 | | 6.8 | ～ | 7.2 | 0/6 | 6.5～8.5 |
| | ＤＯ（溶存酸素量） | 9.7 | | 8.1 | ～ | 11 | 0/6 | 6.9 | | 6.0 | ～ | 8.1 | 5/6 | 7.5 以上 |
| | BOD（生物化学的酸素要求量） | 0.8 | 0.9 | <0.5 | ～ | 1.4 | 0/6 | 2.8 | 3.3 | 1.5 | ～ | 4.6 | 4/6 | 2 以下 |
| | ＳＳ（浮遊物質量） | 18 | | <1 | ～ | 100 | 1/6 | 5 | | 1 | ～ | 13 | 0/6 | 25 以下 |
| | Ｔ－Ｎ（全窒素） | 1.2 | | 1.2 | ～ | 1.2 | -/1 | 2.3 | | 2.3 | ～ | 2.3 | -/1 | － |
| | Ｔ－Ｐ（全燐） | 0.047 | | 0.047 | ～ | 0.047 | -/1 | 0.22 | | 0.22 | ～ | 0.22 | -/1 | － |
| | 大腸菌群数（MPN/100mL） | 2,400 | | 2,400 | ～ | 2,400 | 1/1 | 24,000 | | 24,000 | ～ | 24,000 | 1/1 | 1,000 以下 |
| 健康項目 | カドミウム | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.003 以下 |
| | 全シアン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 不検出 |
| | 鉛 | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | ６価クロム | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.05 以下 |
| | ひ素 | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | 総水銀 | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.0005 以下 |
| | ジクロロメタン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.02 以下 |
| | 四塩化炭素 | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.002 以下 |
| | 1,2-ジクロロエタン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.004 以下 |
| | 1,1-ジクロロエチレン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.1 以下 |
| | シス-1,2-ジクロロエチレン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.04 以下 |
| | 1,1,1-トリクロロエタン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 1 以下 |
| | 1,1,2-トリクロロエタン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.006 以下 |
| | トリクロロエチレン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | テトラクロロエチレン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | 1,3-ジクロロプロペン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.002 以下 |
| | チウラム | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.006 以下 |
| | シマジン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.003 以下 |
| | チオベンカルブ | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.02 以下 |
| | ベンゼン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | セレン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 10 以下 |
| | ふっ素 | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.8 以下 |
| | ほう素 | | | | ～ | | | | | | | | | 1 以下 |
| | 1,4-ジオキサン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.05 以下 |
| その他の項目 | 電気伝導度（mS/m） | 15 | | 11 | ～ | 17 | -/6 | 24 | | 22 | ～ | 26 | -/6 | － |
| | 透視度（cm） | 85 | | 7 | ～ | >100 | -/6 | 89 | | 49 | ～ | >100 | -/6 | － |

| 河川名 | | 諏訪川 | | | | | | 諏訪川 | | | | | | 環境基準値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地点名（類型） | | 臼井橋　(A) | | | | | | 教楽来橋　(A) | | | | | | |
| 項目名 | | 平均値 | 75%値 | 最小 | ～ | 最大 | m/n | 平均値 | 75%値 | 最小 | ～ | 最大 | m/n | A類型 |
| 生活環境項目 | ｐＨ（水素イオン濃度） | 7.5 | | 7.3 | ～ | 7.6 | 0/6 | 7.5 | | 7.3 | ～ | 7.6 | 0/6 | 6.5～8.5 |
| | ＤＯ（溶存酸素量） | 9.3 | | 7.8 | ～ | 11 | 0/6 | 9.3 | | 7.9 | ～ | 10 | 0/6 | 7.5 以上 |
| | BOD（生物化学的酸素要求量） | 1.0 | 1.1 | <0.5 | ～ | 2.3 | 1/6 | 0.7 | 1.0 | <0.5 | ～ | 1.1 | 0/6 | 2 以下 |
| | ＳＳ（浮遊物質量） | 4 | | 1 | ～ | 8 | 0/6 | 6 | | 3 | ～ | 11 | 0/6 | 25 以下 |
| | Ｔ－Ｎ（全窒素） | 1.4 | | 1.4 | ～ | 1.4 | -/1 | 1.4 | | 1.4 | ～ | 1.4 | -/1 | － |
| | Ｔ－Ｐ（全燐） | 0.13 | | 0.13 | ～ | 0.13 | -/1 | 0.072 | | 0.072 | ～ | 0.072 | -/1 | － |
| | 大腸菌群数（MPN/100mL） | 9,200 | | 9,200 | ～ | 9,200 | 1/1 | 1,600 | | 1,600 | ～ | 1,600 | 1/1 | 1,000 以下 |
| 健康項目 | カドミウム | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.003 以下 |
| | 全シアン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 不検出 |
| | 鉛 | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | ６価クロム | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.05 以下 |
| | ひ素 | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | 総水銀 | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.0005 以下 |
| | ジクロロメタン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.02 以下 |
| | 四塩化炭素 | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.002 以下 |
| | 1,2-ジクロロエタン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.004 以下 |
| | 1,1-ジクロロエチレン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.1 以下 |
| | シス-1,2-ジクロロエチレン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.04 以下 |
| | 1,1,1-トリクロロエタン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 1 以下 |
| | 1,1,2-トリクロロエタン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.006 以下 |
| | トリクロロエチレン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | テトラクロロエチレン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | 1,3-ジクロロプロペン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.002 以下 |
| | チウラム | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.006 以下 |
| | シマジン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.003 以下 |
| | チオベンカルブ | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.02 以下 |
| | ベンゼン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | セレン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 10 以下 |
| | ふっ素 | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.8 以下 |
| | ほう素 | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 1 以下 |
| | 1,4-ジオキサン | | | | ～ | | | | | | ～ | | | 0.05 以下 |
| その他の項目 | 電気伝導度（mS/m） | 17 | | 15 | ～ | 19 | -/6 | 17 | | 14 | ～ | 18 | -/6 | － |
| | 透視度（cm） | 77 | | 46 | ～ | >100 | -/6 | 83 | | 40 | ～ | >100 | -/6 | － |

| 河川名 | | 堂面川水系　長溝川 | | | | | | 堂面川 | | | | | | 環境基準値 B類型 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地点名（類型） | | 前田橋（B） | | | | | | 田町橋（B） | | | | | | |
| 項目名 | | 平均値 | 75%値 | 最小 | ～ | 最大 | m/n | 平均値 | 75%値 | 最小 | ～ | 最大 | m/n | |
| 生活環境項目 | ｐＨ（水素イオン濃度） | 7.6 | | 7.2 | ～ | 8.1 | 0/6 | 7.2 | | 6.9 | ～ | 7.5 | 0/6 | 6.5～8.5 |
| | ＤＯ（溶存酸素量） | 9.5 | | 7.6 | ～ | 13 | 0/6 | 8.4 | | 7.4 | ～ | 9.8 | 0/6 | 5 以上 |
| | ＢＯＤ（生物化学的酸素要求量） | 1.7 | 1.6 | 1.0 | ～ | 3.2 | 1/6 | 2.5 | 2.9 | 1.5 | ～ | 3.8 | 1/6 | 3 以下 |
| | ＳＳ（浮遊物質量） | 7 | | <1 | ～ | 19 | 0/6 | 10 | | 1 | ～ | 45 | 1/6 | 25 以下 |
| | Ｔ－Ｎ（全窒素） | 1.4 | | 1.4 | ～ | 1.4 | -/1 | 1.2 | | 1.2 | ～ | 1.2 | -/1 | － |
| | Ｔ－Ｐ（全燐） | 0.12 | | 0.12 | ～ | 0.12 | -/1 | 0.14 | | 0.14 | ～ | 0.14 | -/1 | － |
| | 大腸菌群数（MPN/100mL） | 9,200 | | 9,200 | ～ | 9,200 | 1/1 | 54,000 | | 54,000 | ～ | 54,000 | 1/1 | 5,000 以下 |
| 健康項目 | カドミウム | <0.0003 | | <0.0003 | ～ | <0.0003 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.003 以下 |
| | 全シアン | <0.1 | | <0.1 | ～ | <0.1 | 0/1 | | | | ～ | | | 不検出 |
| | 鉛 | <0.005 | | <0.005 | ～ | <0.005 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | ６価クロム | <0.02 | | <0.02 | ～ | <0.02 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.05 以下 |
| | ひ素 | <0.005 | | <0.005 | ～ | <0.005 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | 総水銀 | <0.0005 | | <0.0005 | ～ | <0.0005 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.0005 以下 |
| | ジクロロメタン | <0.002 | | <0.002 | ～ | <0.002 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.02 以下 |
| | 四塩化炭素 | <0.0002 | | <0.0002 | ～ | <0.0002 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.002 以下 |
| | 1,2-ジクロロエタン | <0.0004 | | <0.0004 | ～ | <0.0004 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.004 以下 |
| | 1,1-ジクロロエチレン | <0.002 | | <0.002 | ～ | <0.002 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.1 以下 |
| | シス-1,2-ジクロロエチレン | <0.004 | | <0.004 | ～ | <0.004 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.04 以下 |
| | 1,1,1-トリクロロエタン | <0.0005 | | <0.0005 | ～ | <0.0005 | 0/1 | | | | ～ | | | 1 以下 |
| | 1,1,2-トリクロロエタン | <0.0006 | | <0.0006 | ～ | <0.0006 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.006 以下 |
| | トリクロロエチレン | <0.001 | | <0.001 | ～ | <0.001 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | テトラクロロエチレン | <0.0005 | | <0.0005 | ～ | <0.0005 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | 1,3-ジクロロプロペン | <0.0002 | | <0.0002 | ～ | <0.0002 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.002 以下 |
| | チウラム | <0.0006 | | <0.0006 | ～ | <0.0006 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.006 以下 |
| | シマジン | <0.0003 | | <0.0003 | ～ | <0.0003 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.003 以下 |
| | チオベンカルブ | <0.002 | | <0.002 | ～ | <0.002 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.02 以下 |
| | ベンゼン | <0.001 | | <0.001 | ～ | <0.001 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | セレン | <0.002 | | <0.002 | ～ | <0.002 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.01 以下 |
| | 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 1.3 | | 1.3 | ～ | 1.3 | 0/1 | | | | ～ | | | 10 以下 |
| | ふっ素 | <0.2 | | <0.2 | ～ | <0.2 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.8 以下 |
| | ほう素 | <0.1 | | <0.1 | ～ | <0.1 | 0/1 | | | | ～ | | | 1 以下 |
| | 1,4-ジオキサン | <0.005 | | <0.005 | ～ | <0.005 | 0/1 | | | | ～ | | | 0.05 以下 |
| その他の項目 | 電気伝導度（mS/m） | 27 | | 23 | ～ | 34 | -/6 | 21 | | 20 | ～ | 21 | -/6 | － |
| | 透視度（cm） | 100 | | 98 | ～ | >100 | -/6 | 82 | | 12 | ～ | >100 | -/6 | － |

| 河川名 | | 大牟田川 | | | | | | 環境基準値 B類型 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地点名（類型） | | 七浦橋（B） | | | | | | |
| 項目名 | | 平均値 | 75%値 | 最小 | ～ | 最大 | m/n | |
| 生活環境項目 | ｐＨ（水素イオン濃度） | 7.7 | | 7.3 | ～ | 7.9 | 0/6 | 6.5～8.5 |
| | ＤＯ（溶存酸素量） | 9.6 | | 8.3 | ～ | 11 | 0/6 | 5 以上 |
| | ＢＯＤ（生物化学的酸素要求量） | 3 | 3.2 | 1.1 | ～ | 5.9 | 3/6 | 3 以下 |
| | ＳＳ（浮遊物質量） | 6 | | 1 | ～ | 12 | 0/6 | 25 以下 |
| | Ｔ－Ｎ（全窒素） | 3.0 | | 3.0 | ～ | 3.0 | -/1 | － |
| | Ｔ－Ｐ（全燐） | 1.6 | | 1.6 | ～ | 1.6 | -/1 | － |
| | 大腸菌群数（MPN/100mL） | 5,400 | | 5,400 | ～ | 5,400 | 1/1 | 5,000 以下 |
| 健康項目 | カドミウム | <0.0003 | | <0.0003 | ～ | <0.0003 | 0/1 | 0.003 以下 |
| | 全シアン | <0.1 | | <0.1 | ～ | <0.1 | 0/1 | 不検出 |
| | 鉛 | <0.005 | | <0.005 | ～ | <0.005 | 0/1 | 0.01 以下 |
| | ６価クロム | <0.02 | | <0.02 | ～ | <0.02 | 0/1 | 0.05 以下 |
| | ひ素 | <0.005 | | <0.005 | ～ | <0.005 | 0/1 | 0.01 以下 |
| | 総水銀 | <0.0005 | | <0.0005 | ～ | <0.0005 | 0/1 | 0.0005 以下 |
| | ジクロロメタン | <0.002 | | <0.002 | ～ | <0.002 | 0/1 | 0.02 以下 |
| | 四塩化炭素 | <0.0002 | | <0.0002 | ～ | <0.0002 | 0/1 | 0.002 以下 |
| | 1,2-ジクロロエタン | <0.0004 | | <0.0004 | ～ | <0.0004 | 0/1 | 0.004 以下 |
| | 1,1-ジクロロエチレン | <0.002 | | <0.002 | ～ | <0.002 | 0/1 | 0.1 以下 |
| | シス-1,2-ジクロロエチレン | <0.004 | | <0.004 | ～ | <0.004 | 0/1 | 0.04 以下 |
| | 1,1,1-トリクロロエタン | <0.0005 | | <0.0005 | ～ | <0.0005 | 0/1 | 1 以下 |
| | 1,1,2-トリクロロエタン | <0.0006 | | <0.0006 | ～ | <0.0006 | 0/1 | 0.006 以下 |
| | トリクロロエチレン | <0.001 | | <0.001 | ～ | <0.001 | 0/1 | 0.01 以下 |
| | テトラクロロエチレン | <0.0005 | | <0.0005 | ～ | <0.0005 | 0/1 | 0.01 以下 |
| | 1,3-ジクロロプロペン | <0.0002 | | <0.0002 | ～ | <0.0002 | 0/1 | 0.002 以下 |
| | チウラム | <0.0006 | | <0.0006 | ～ | <0.0006 | 0/1 | 0.006 以下 |
| | シマジン | <0.0003 | | <0.0003 | ～ | <0.0003 | 0/1 | 0.003 以下 |
| | チオベンカルブ | <0.002 | | <0.002 | ～ | <0.002 | 0/1 | 0.02 以下 |
| | ベンゼン | <0.001 | | <0.001 | ～ | <0.001 | 0/1 | 0.01 以下 |
| | セレン | <0.002 | | <0.002 | ～ | <0.002 | 0/1 | 0.01 以下 |
| | 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 2.6 | | 2.6 | ～ | 2.6 | 0/1 | 10 以下 |
| | ふっ素 | <0.2 | | <0.2 | ～ | <0.2 | 0/1 | 0.8 以下 |
| | ほう素 | <0.1 | | <0.1 | ～ | <0.1 | 0/1 | 1 以下 |
| | 1,4-ジオキサン | <0.005 | | <0.005 | ～ | <0.005 | 0/1 | 0.05 以下 |
| その他の項目 | 電気伝導度（mS/m） | 47 | | 33 | ～ | 60 | -/6 | － |
| | 透視度（cm） | 95 | | 82 | ～ | >100 | -/6 | － |

| 河川名 | | 堂面川水系白銀支流　手鎌南川 | | | | | | 堂面川水系白銀支流　手鎌南川 | | | | | | 環境基準値 B類型 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地点名（類型） | | 甘木橋　(B準用) | | | | | | 安入寺橋　(B準用) | | | | | | |
| 項目名 | | 平均値 | 75%値 | 最小 | ～ | 最大 | m/n | 平均値 | 75%値 | 最小 | ～ | 最大 | m/n | |
| 生活環境項目 | ｐＨ（水素イオン濃度） | 7.4 | | 7.0 | ～ | 8.1 | 0/6 | 7.5 | | 7.1 | ～ | 7.9 | 0/6 | 6.5～8.5 |
| | ＤＯ（溶存酸素量） | 8.5 | | 5.8 | ～ | 10 | 0/6 | 8.7 | | 7.3 | ～ | 10 | 0/6 | 5 以上 |
| | ＢＯＤ（生物化学的酸素要求量） | 4.8 | 5.5 | 1.2 | ～ | 8.3 | 5/6 | 2.1 | 2.6 | 1.3 | ～ | 3.3 | 1/6 | 3 以下 |
| | ＳＳ（浮遊物質量） | 9 | | 3 | ～ | 16 | 0/6 | 10 | | 2 | ～ | 32 | 1/6 | 25 以下 |
| | Ｔ－Ｎ（全窒素） | 2.0 | | 2.0 | ～ | 2.0 | -/1 | 0.9 | | 0.9 | ～ | 0.9 | -/1 | － |
| | Ｔ－Ｐ（全燐） | 0.21 | | 0.21 | ～ | 0.21 | -/1 | 0.17 | | 0.17 | ～ | 0.17 | -/1 | － |
| | 大腸菌群数（MPN/100mL） | 16,000 | | 16,000 | ～ | 16,000 | 1/1 | 2,400 | | 2,400 | ～ | 2,400 | 0/1 | 5,000 以下 |
| 健康項目 | カドミウム | | | | ～ | | | <0.0003 | | <0.0003 | ～ | <0.0003 | 0/1 | 0.003 以下 |
| | 全シアン | | | | ～ | | | <0.1 | | <0.1 | ～ | <0.1 | 0/1 | 不検出 |
| | 鉛 | | | | ～ | | | <0.005 | | <0.005 | ～ | <0.005 | 0/1 | 0.01 以下 |
| | ６価クロム | | | | ～ | | | <0.02 | | <0.02 | ～ | <0.02 | 0/1 | 0.05 以下 |
| | ひ素 | | | | ～ | | | <0.005 | | <0.005 | ～ | <0.005 | 0/1 | 0.01 以下 |
| | 総水銀 | | | | ～ | | | <0.0005 | | <0.0005 | ～ | <0.0005 | 0/1 | 0.0005 以下 |
| | ジクロロメタン | | | | ～ | | | <0.002 | | <0.002 | ～ | <0.002 | 0/1 | 0.02 以下 |
| | 四塩化炭素 | | | | ～ | | | <0.0002 | | <0.0002 | ～ | <0.0002 | 0/1 | 0.002 以下 |
| | 1,2-ジクロロエタン | | | | ～ | | | <0.0004 | | <0.0004 | ～ | <0.0004 | 0/1 | 0.004 以下 |
| | 1,1-ジクロロエチレン | | | | ～ | | | <0.002 | | <0.002 | ～ | <0.002 | 0/1 | 0.1 以下 |
| | シス-1,2-ジクロロエチレン | | | | ～ | | | <0.004 | | <0.004 | ～ | <0.004 | 0/1 | 0.04 以下 |
| | 1,1,1-トリクロロエタン | | | | ～ | | | <0.0005 | | <0.0005 | ～ | <0.0005 | 0/1 | 1 以下 |
| | 1,1,2-トリクロロエタン | | | | ～ | | | <0.0006 | | <0.0006 | ～ | <0.0006 | 0/1 | 0.006 以下 |
| | トリクロロエチレン | | | | ～ | | | <0.001 | | <0.001 | ～ | <0.001 | 0/1 | 0.01 以下 |
| | テトラクロロエチレン | | | | ～ | | | <0.0005 | | <0.0005 | ～ | <0.0005 | 0/1 | 0.01 以下 |
| | 1,3-ジクロロプロペン | | | | ～ | | | <0.0002 | | <0.0002 | ～ | <0.0002 | 0/1 | 0.002 以下 |
| | チウラム | | | | ～ | | | <0.0006 | | <0.0006 | ～ | <0.0006 | 0/1 | 0.006 以下 |
| | シマジン | | | | ～ | | | <0.0003 | | <0.0003 | ～ | <0.0003 | 0/1 | 0.003 以下 |
| | チオベンカルブ | | | | ～ | | | <0.002 | | <0.002 | ～ | <0.002 | 0/1 | 0.02 以下 |
| | ベンゼン | | | | ～ | | | <0.001 | | <0.001 | ～ | <0.001 | 0/1 | 0.01 以下 |
| | セレン | | | | ～ | | | <0.002 | | <0.002 | ～ | <0.002 | 0/1 | 0.01 以下 |
| | 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | | | | ～ | | | 1.1 | | 1.1 | ～ | 1.1 | 0/1 | 10 以下 |
| | ふっ素 | | | | ～ | | | <0.2 | | <0.2 | ～ | <0.2 | 0/1 | 0.8 以下 |
| | ほう素 | | | | ～ | | | <0.1 | | <0.1 | ～ | <0.1 | 0/1 | 1 以下 |
| | 1,4-ジオキサン | | | | ～ | | | <0.005 | | <0.005 | ～ | <0.005 | 0/1 | 0.05 以下 |
| その他の項目 | 電気伝導度（mS/m） | 25 | | 18 | ～ | 30 | -/6 | 38 | | 20 | ～ | 54 | -/6 | － |
| | 透視度（cm） | 54 | | 23 | ～ | 93 | -/6 | 69 | | 42 | ～ | >100 | -/6 | － |

## （２）　流入水路（生活排水）の水質調査結果　（平成 30 年度）

| 調査場所 | 七夕橋下流水路<堂面川> | | | | 御幸返橋下流水路<堂面川> | | | | 中牟田川　<白銀川> | | | | 亀崎橋上流水路　<隈川> | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 項目名 | 平均値 | 最小 | ～ | 最大 | 平均値 | 最小 | ～ | 最大 | 平均値 | 最小 | ～ | 最大 | 平均値 | 最小 | ～ | 最大 |
| ｐＨ(水素イオン濃度) | 7.5 | 6.7 | ～ | 9.0 | 8.0 | 7.2 | ～ | 8.8 | 7.6 | 6.9 | ～ | 8.4 | 7.6 | 7.1 | ～ | 8.2 |
| ＤＯ(溶存酸素量) | 8.0 | 4.5 | ～ | 11 | 9.5 | 7.9 | ～ | 11 | 8.6 | 7.5 | ～ | 9.6 | 8.8 | 7.1 | ～ | 13 |
| ＢＯＤ(生物化学的酸素要求量) | 6.8 | 3.9 | ～ | 14 | 13 | 10 | ～ | 18 | 1.7 | 1.0 | ～ | 2.2 | 4.7 | 2.7 | ～ | 7.1 |
| ＳＳ(浮遊物質量) | 10 | 3 | ～ | 15 | 5 | 3 | ～ | 7 | 2 | 1 | ～ | 4 | 3 | 1 | ～ | 5 |
| Ｔ－Ｎ（全窒素） | 1.6 | 1.6 | ～ | 1.6 | 6.4 | 6.4 | ～ | 6.4 | 5.3 | 5.3 | ～ | 5.3 | 6.5 | 6.5 | ～ | 6.5 |
| Ｔ－Ｐ（全燐） | 0.15 | 0.15 | ～ | 0.15 | 1.1 | 1.1 | ～ | 1.1 | 0.64 | 0.64 | ～ | 0.64 | 0.59 | 0.59 | ～ | 0.59 |
| ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類) | <0.5 | <0.5 | ～ | <0.5 | <0.5 | <0.5 | ～ | <0.5 | <0.5 | <0.5 | ～ | <0.5 | <0.5 | <0.5 | ～ | <0.5 |
| 同上(動植物油脂類) | <0.5 | <0.5 | ～ | <0.5 | <0.5 | <0.5 | ～ | <0.5 | <0.5 | <0.5 | ～ | <0.5 | <0.5 | <0.5 | ～ | <0.5 |

## （３）　大牟田エコタウン雨水調整池調査結果　（平成 30 年度）

| 地点名 | | エコタウン調整池 | | | | 環境基準値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 項目名 | | 平均値 | 最小 | ～ | 最大 | |
| 生活環境項 | ｐＨ(水素イオン濃度) | 9.4 | 8.4 | ～ | 10.3 | 7.0～8.3（海域C） |
| | ＤＯ(溶存酸素量) | 11 | 8.3 | ～ | 13 | 2以上（海域C） |
| 特殊項目 | 溶解性鉄 | 0.07 | 0.05 | ～ | 0.09 | － |
| | 溶解性マンガン | <0.01 | <0.01 | ～ | <0.01 | － |
| 健康項目 | カドミウム | <0.0003 | <0.0003 | ～ | <0.0003 | 0.003以下 |
| | 鉛 | <0.005 | <0.005 | ～ | <0.005 | 0.01以下 |
| | 全シアン | <0.1 | <0.1 | ～ | <0.1 | 検出されないこと |
| | ひ素 | <0.005 | <0.005 | ～ | <0.005 | 0.01以下 |
| | ６価クロム | <0.02 | <0.02 | ～ | <0.02 | 0.05以下 |
| | 総水銀 | <0.0005 | <0.0005 | ～ | <0.0005 | 0.0005以下 |

備考

※　測定回数（年間）：補助地点における河川調査６回、流入水路調査４回、大牟田エコタウン雨水調整池調査２回

※　単位：透視度、ｐＨ、大腸菌群数、電気伝導度以外は mg/L

※　m/ｎ：環境基準に適合しない日数/総測定日数

※　75%値：測定した年間データのうち、値の小さい方から 75%の範囲にある最高値をいう　河川の水質調査は年間６回測定を行っているため、値の小さい方から５番目のデータを 75%値とする

※　測定値は、有効数字を２桁とし、３桁目以下を切り捨てる(ただし、ｐＨについては、小数第２位を四捨五入し、小数点以下１桁までとする)　また、定量下限値の桁を下回る桁については切り捨てる

※　平均値は、３桁目を四捨五入し、有効数字２桁又は定量下限値を下回る桁を四捨五入する　平均値の算出にあたっては、定量下限値未満は定量下限値の値を用いる

## 4　浄化槽

### （１）　浄化槽受理基数の推移

（単位：基数）

| | | 24 年度 | | 25 年度 | | 26 年度 | | 27 年度 | | 28 年度 | | 29 年度 | | 30 年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 単独 | 合併 | 単独 | 合併 | 単独 | 合併 | 単独 | 合併 | 単独 | 合併 | 単独 | 合併 | 単独 | 合併 |
| ～50 | 新設 | 0 | 180 | 0 | 217 | 0 | 149 | 0 | 147 | 0 | 145 | 0 | 114 | 0 | 118 |
| | 小計 | 1,244 | 5,430 | 1,201 | 5,500 | 1,155 | 5,461 | 1,124 | 5,364 | 1,089 | 5,260 | 1,070 | 5,126 | 1,041 | 5,079 |
| 51～100 | 新設 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 小計 | 59 | 93 | 56 | 93 | 51 | 92 | 50 | 89 | 45 | 89 | 42 | 85 | 39 | 83 |
| 101～500 | 新設 | 0 | 2 | 0 | 4 | 0 | 2 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| | 小計 | 43 | 131 | 39 | 131 | 39 | 127 | 38 | 128 | 33 | 122 | 30 | 120 | 29 | 118 |
| 501～ | 新設 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 0 | 24 | 0 | 24 | 0 | 25 | 0 | 25 | 0 | 23 | 0 | 23 | 0 | 22 |
| 小計 | 新設 | 0 | 183 | 0 | 222 | 0 | 153 | 0 | 152 | 0 | 147 | 0 | 114 | 0 | 124 |
| | 小計 | 1,346 | 5,678 | 1,296 | 5,748 | 1,245 | 5,705 | 1,212 | 5,606 | 1,167 | 5,494 | 1,142 | 5,354 | 1,109 | 5,302 |
| 単年度合計 | | 183 | | 222 | | 153 | | 152 | | 147 | | 114 | | 124 | |
| 合　計 | | 7,024 | | 7,044 | | 6,950 | | 6,818 | | 6,661 | | 6,496 | | 6,411 | |

### （２）　補助実績（合併処理浄化槽）の推移

| | 63 年度 | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 | 28 年度 | 29 年度 | 30 年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 補助基数 | 32 | 143 | 86 | 114 | 95 | 72 | 92 |
| のべ補助基数 | 32 | 5,271 | 5,357 | 5,471 | 5,566 | 5,638 | 5,730 |

### （３）　保守点検登録業者一覧

| 業　者　名 | 住　所（営業所） |
|---|---|
| 共栄環境開発（株） | 船津町 326－2 |
| （株）森商事 | 大字草木 1263 |
| （有）手鎌浄化槽センター | 大字手鎌 1890-1 |
| （株）アメニティ | 新勝立町 4 丁目 85-11 |
| 祐徳近海汽船（株） | 不知火町 3 丁目 2-4 |

### （４）　清掃業許可業者一覧

| 業　者　名 | 住　所（営業所） |
|---|---|
| 共栄環境開発（株） | 船津町 326－2 |
| （株）森商事 | 大字草木 1263 |
| （有）手鎌浄化槽センター | 大字手鎌 1890-1 |
| （株）アメニティ | 新勝立町 4 丁目 85-11 |
| 祐徳近海汽船（株） | 不知火町 3 丁目 2-4 |

### （５）　指定検査機関

| 指定検査機関名 | 住　所 |
|---|---|
| (一財)有明環境整備公社 | 健老町 473-5 |

## ５　騒音・振動

### （１）　騒音規制法に基づく特定施設の届出状況　　（平成 31 年 3 月 31 日現在）

| 特定施設の名称 | 施設数 | 特定施設の名称 | 施設数 |
|---|---|---|---|
| 1　金属加工機械 | 115 | 5　建設用資材製造機械 | 4 |
| イ　圧延機械 | 3 | イ　コンクリートプラント | 2 |
| ロ　製管機械 | 0 | ロ　アスファルトプラント | 2 |
| ハ　ベンディングマシン | 5 | 6　穀物用製粉機 | 0 |
| ニ　液圧プレス | 40 | 7　木材加工用機械 | 20 |
| ホ　機械プレス | 24 | イ　ドラムバーガー | 0 |
| ヘ　せん断機 | 33 | ロ　チッパー | 0 |
| ト　鍛造機 | 0 | ハ　砕木機 | 0 |
| チ　ワイヤーフォーミングマシン | 0 | ニ　帯のこ盤 | 2 |
| リ　ブラスト | 3 | ホ　丸のこ盤 | 9 |
| ヌ　タンブラー | 0 | ヘ　かんな盤 | 9 |
| ル　切断機 | 7 | 8　抄紙機 | 0 |
| 2　空気圧縮機及び送風機 | 1,263 | 9　印刷機械 | 48 |
| 3　土石用又は鉱物用の破砕機、摩砕機、ふるい及び分級機 | 133 | 10　合成樹脂用射出成形機 | 64 |
| | | 11　鋳型造型機 | 2 |
| 4　織機 | 0 | 合　　計 | 1,649 |

### （２）　振動規制法に基づく特定施設の届出状況　　（平成 31 年 3 月 31 日現在）

| 特定施設の名称 | 施設数 | 特定施設の名称 | 施設数 |
|---|---|---|---|
| 1　金属加工機械 | 94 | 5　コンクリートブロックマシン並びにコンクリート管製造機械及びコンクリート柱製造機械 | 0 |
| イ　液圧プレス | 23 | | |
| ロ　機械プレス | 37 | | |
| ハ　せん断機 | 31 | 6　木材加工用機械 | 0 |
| ニ　鍛造機 | 3 | イ　ドラムバーガー | 0 |
| ホ　ワイヤーフォーミングマシン | 0 | ロ　チッパー | 0 |
| 2　圧縮機 | 168 | 7　印刷機械 | 14 |
| 3　土石用又は鉱物用の破砕機、摩砕機、ふるい及び分級機 | 65 | 8　ゴム練用又は合成樹脂練用のロール機 | 0 |
| | | 9　合成樹脂用射出成形機 | 61 |
| 4　織機 | 0 | 10　鋳型造型機 | 0 |
| | | 合　　計 | 402 |

### （３）　福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例に基づく騒音に係る特定施設の届出状況　　（平成31年3月31日現在）

| 特定施設の名称 | 施設数 | 特定施設の名称 | 施設数 |
|---|---|---|---|
| イ　金属加工機械 | 3 | ロ　クーリングタワー | 2 |
| (一)　圧延機械 | 0 | ハ　ドラム缶洗浄機 | 0 |
| (二)　ベンディングマシン | 0 | ニ　ロータリーキルン | 0 |
| (三)　せん断機 | 0 | ホ　重油バーナー | 8 |
| (四)　ブラスト | 1 | ヘ　電気炉 | 0 |
| (五)　高速切断機及びプラズマ切断機 | 1 | 合　　計 | 13 |
| (六)　研磨機 | 1 | | |

## （４）　騒音規制法及び振動規制法に基づく特定建設作業の届出状況

（平成 31 年 3 月 31 日現在）

| 騒音規制法に基づく特定建設作業の種類 | 件数 | 振動規制法に基づく特定建設作業の種類 | 件数 |
|---|---|---|---|
| 1　くい打機等を使用する作業 | 0 | 1　くい打機等を使用する作業 | 0 |
| 2　びょう打機等を使用する作業 | 0 | 2　鋼球を使用して建築物その他の工作物を破壊する作業 | 0 |
| 3　さく岩機を使用する作業 | 4 | 3　舗装版破砕機を使用する作業 | 0 |
| 4　空気圧縮機を使用する作業 | 1 | 4　ブレーカーを使用する作業 | 4 |
| 5　コンクリートプラント等を使用する作業 | 0 | | |
| 6　バックホウを使用する作業 | 0 | | |
| 7　トラクターショベルを使用する作業 | 0 | | |
| 8　ブルドーザーを使用する作業 | 0 | | |
| 合　　計 | 5 | 合　　計 | 4 |

## （５）　自動車騒音･道路交通振動測定結果

| 時間帯の区分 | 観測時間 | 自動車騒音（C類型）　単位：dB | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 等価騒音レベル | 時間率騒音レベル | | | 基準時間帯平均騒音レベル（$L_{Aeq}$） | 環境基準 | 要請限度 |
| | | $L_{Aeq}$ | $L_{A5}$ | $L_{A50}$ | $L_{A95}$ | | | |
| 昼間 | 6～7 | 61.8 | 68.4 | 53.8 | 44.3 | 65 | 70 | 75 |
| | 7～8 | 65.5 | 71.9 | 61.0 | 48.5 | | | |
| | 8～9 | 67.8 | 72.7 | 66.3 | 48.2 | | | |
| | 9～10 | 65.4 | 70.3 | 63.4 | 54.6 | | | |
| | 10～11 | 66.4 | 71.2 | 65.2 | 53.6 | | | |
| | 11～12 | 66.0 | 70.4 | 64.7 | 50.5 | | | |
| | 12～13 | 65.3 | 70.4 | 62.7 | 48.6 | | | |
| | 13～14 | 66.4 | 71.4 | 63.5 | 50.0 | | | |
| | 14～15 | 65.2 | 70.5 | 62.8 | 50.8 | | | |
| | 15～16 | 65.3 | 69.7 | 62.5 | 52.2 | | | |
| | 16～17 | 65.1 | 70.1 | 62.4 | 49.9 | | | |
| | 17～18 | 66.0 | 71.3 | 63.3 | 48.2 | | | |
| | 18～19 | 65.5 | 71.0 | 62.5 | 48.7 | | | |
| | 19～20 | 64.8 | 70.1 | 62.0 | 48.5 | | | |
| | 20～21 | 64.1 | 69.3 | 61.4 | 46.9 | | | |
| | 21～22 | 62.5 | 68.9 | 57.8 | 44.7 | | | |
| 夜間 | 22～23 | 62.4 | 68.4 | 58.1 | 44.4 | 59 | 65 | 70 |
| | 23～0 | 61.1 | 67.1 | 56.1 | 46.7 | | | |
| | 0～1 | 57.1 | 64.0 | 48.0 | 45.1 | | | |
| | 1～2 | 57.5 | 64.5 | 45.9 | 42.4 | | | |
| | 2～3 | 56.9 | 64.6 | 44.8 | 42.4 | | | |
| | 3～4 | 58.3 | 65.2 | 45.8 | 40.5 | | | |
| | 4～5 | 56.5 | 63.9 | 44.5 | 40.1 | | | |
| | 5～6 | 57.8 | 62.6 | 47.6 | 45.2 | | | |

| 時間帯の区分 | 観測時間 | 道路交通振動（第2種地域）単位：dB | | | 交通量（台/600秒） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 振動レベル | 時間区分の平均値 | 要請限度 | 大型車 | 普通車 | 二輪車 | 合計 |
| | | L10 | | | | | | |
| 夜間 | 6～7 | 31.5 | 29 | 65 | 7 | 42 | 0 | 49 |
| | 7～8 | 36.4 | | | 12 | 105 | 5 | 122 |
| 昼間 | 8～9 | 38.8 | 39 | 70 | 13 | 286 | 15 | 314 |
| | 9～10 | 39.3 | | | 17 | 173 | 8 | 198 |
| | 10～11 | 39.9 | | | 19 | 264 | 7 | 290 |
| | 11～12 | 40.4 | | | 24 | 265 | 9 | 298 |
| | 12～13 | 40.7 | | | 12 | 224 | 6 | 242 |
| | 13～14 | 40.3 | | | 19 | 224 | 10 | 253 |
| | 14～15 | 40.2 | | | 16 | 225 | 4 | 245 |
| | 15～16 | 37.4 | | | 14 | 258 | 7 | 279 |
| | 16～17 | 38.0 | | | 13 | 226 | 7 | 246 |
| | 17～18 | 35.2 | | | 6 | 285 | 13 | 304 |
| 夜間 | 18～19 | 36.7 | 29 | 65 | 8 | 236 | 9 | 253 |
| | 19～20 | 34.0 | | | 8 | 207 | 6 | 221 |
| | 20～21 | 35.9 | | | 4 | 161 | 3 | 168 |
| | 21～22 | 33.9 | | | 4 | 98 | 2 | 104 |
| | 22～23 | 33.4 | | | 2 | 93 | 0 | 95 |
| | 23～0 | 32.3 | | | 1 | 56 | 1 | 58 |
| | 0～1 | 26.3 | | | 0 | 27 | 0 | 27 |
| | 1～2 | 22.1 | | | 1 | 20 | 0 | 21 |
| | 2～3 | 24.8 | | | 3 | 16 | 0 | 19 |
| | 3～4 | 23.1 | | | 4 | 8 | 1 | 13 |
| | 4～5 | 24.5 | | | 3 | 11 | 0 | 14 |
| | 5～6 | 24.2 | | | 3 | 12 | 1 | 16 |

国道 208 号　有明町（大牟田市役所前）【C 類型】

※　自動車騒音・　道路交通振動　測定年月日：平成 30 年 11 月 29 日～30 日　交通量は上下線の合計

## （６）　自動車騒音面的評価結果

### ア　評価対象区間及び道路調査結果

| H27年度<br>交通センサス調査<br>単位区間番号 | 評価区間番号 | 路線名 | 起点－終点 | 評価区間延長<br>（Km） | 車線数 | 道路構造 | 遮音壁 | 舗装種別 | 騒音発生強度の<br>把握の方法 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 40040 | 40040-1 | 県道大牟田植木線 | 築町4 ～ 上官町 | 1.2 | 4 | 平面 | 無 | 低騒音舗装なし | 1 | 実施 |
| 40050 | 40050-1 | | 上官町 ～ 末広町 | 0.8 | 4 | 平面 | 無 | 低騒音舗装なし | 2 | 40040-1を準用 |
| | 40050-2 | | 末広町 ～ 新勝立町 | 1.4 | 2 | 平面 | 無 | 低騒音舗装なし | 2 | 40040-1を準用 |
| | 40050-3 | | 新勝立町 ～ 新勝立町 | 0.2 | 2 | 平面 | 無 | 低騒音舗装なし | 2 | 40040-1を準用 |

※　測定年月日：平成 30 年 11 月 19 日～20 日
※　騒音発生強度の把握の方法
　　1：沿道騒音レベルの実測による方法
　　2：他の評価区間における騒音測定結果を準用する方法
　　3：自動車の交通量及び速度の実測結果により推計する方法
　　4：交通量が僅少の事由により、環境基準値以下と決定する方法

### イ　測定結果（道路近傍騒音レベル・背後地騒音レベル）　　（単位：dB）

| 測定地点番号 | 評価区間番号 | 路線名 | 道路近傍騒音レベル<br>（$L_{Aeq}$） | | 背後地騒音レベル<br>（$L_{A95}$） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 昼間 | 夜間 | 昼間 | 夜間 |
| 40040 | 40040-1 | 県道大牟田植木線 | 66 | 59 | 41 | 35 |

※　1. 測定地点番号：面的評価支援システムで設定した測定地点番号に対応
※　2. 騒音に係る環境基準：昼間 70dB、夜間 65dB（幹線交通を担う道路に近接する空間における特例）
※　3. 自動車騒音の要請限度：昼間 75dB、夜間 70dB（幹線交通を担う道路に近接する区域）

### ウ　戸数と割合の詳細結果

| 道路種別 | 面的評価結果（全体） | | | | | 面的評価結果（近接空間） | | | | | 面的評価結果（非近接空間） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 住居等戸数<br>①+②+③+④ | 昼夜とも基準値以下① | 昼のみ基準値以下② | 夜のみ基準値以下③ | 昼夜とも基準値超過④ | 住居等戸数<br>①+②+③+④ | 昼夜とも基準値以下① | 昼のみ基準値以下② | 夜のみ基準値以下③ | 昼夜とも基準値超過④ | 住居等戸数<br>①+②+③+④ | 昼夜とも基準値以下① | 昼のみ基準値以下② | 夜のみ基準値以下③ | 昼夜とも基準値超過④ |
| 一般国道 | 957 | 935 | 18 | 1 | 3 | 342 | 325 | 17 | 0 | 0 | 615 | 610 | 1 | 1 | 3 |
| | | 97.7% | 1.9% | 0.1% | 0.3% | | 95.0% | 5.0% | 0.0% | 0.0% | | 99.2% | 0.2% | 0.2% | 0.5% |
| 都道府県道 | 2041 | 2034 | 1 | 4 | 2 | 866 | 866 | 0 | 0 | 0 | 1175 | 1168 | 1 | 4 | 2 |
| | | 99.7% | 0.0% | 0.2% | 0.1% | | 100% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | 99.4% | 0.1% | 0.3% | 0.2% |
| 全体 | 2998 | 2969 | 19 | 5 | 5 | 1208 | 1191 | 17 | 0 | 0 | 1790 | 1778 | 2 | 5 | 5 |
| | | 99.0% | 0.6% | 0.2% | 0.2% | | 98.6% | 1.4% | 0.0% | 0.0% | | 99.3% | 0.1% | 0.3% | 0.3% |

※　上記表に示す全体の戸数には、複数の評価区間に属する住居等が重複して計上されているため、本文中の**表 2-4-6** の全戸数とは異なる
※　上記表に示す全体の戸数は、過去からの評価戸数を含めている
※　割合は小数第 2 位を四捨五入しているため合計値に誤差が生じる場合がある

（７）　一般地域の環境騒音測定結果

小浜町（小浜南団地中央公園集会所）【Ｂ類型】　正山町（正山公園西側）【Ｂ類型】

| 時間帯の区分 | 観測時間 | 小浜町（小浜南団地中央集会所）（B類型）　単位：dB | | | | | | 正山町（正山公園西側入口）（B類型）　単位：dB | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 等価騒音レベル | 時間率騒音レベル | | | 基準時間帯平均騒音レベル | 環境基準 | 等価騒音レベル | 時間率騒音レベル | | | 基準時間帯平均騒音レベル | 環境基準 |
| | | $L_{Aeq}$ | $L_{A5}$ | $L_{A50}$ | $L_{A95}$ | （$L_{Aeq}$） | | $L_{Aeq}$ | $L_{A5}$ | $L_{A50}$ | $L_{A95}$ | （$L_{Aeq}$） | |
| 昼間 | 6～7 | 45.2 | 50.1 | 43.2 | 41.2 | 45 | 55 | 43.9 | 46.5 | 43.3 | 41.6 | 45 | 55 |
| | 7～8 | 46.0 | 49.7 | 44.7 | 42.9 | | | 46.5 | 49.6 | 44.7 | 42.4 | | |
| | 8～9 | 47.2 | 50.8 | 46.3 | 43.4 | | | 45.5 | 49.3 | 44.2 | 41.4 | | |
| | 9～10 | 46.0 | 49.6 | 44.8 | 42.6 | | | 47.3 | 51.5 | 45.7 | 43.5 | | |
| | 10～11 | 46.8 | 49.3 | 46.3 | 43.9 | | | 47.8 | 52.4 | 43.9 | 39.0 | | |
| | 11～12 | 43.8 | 47.8 | 42.0 | 38.4 | | | 47.3 | 51.5 | 43.2 | 39.1 | | |
| | 12～13 | 45.4 | 49.4 | 43.5 | 39.4 | | | 43.8 | 47.3 | 40.8 | 37.2 | | |
| | 13～14 | 44.3 | 47.3 | 43.1 | 40.4 | | | 43.5 | 46.2 | 43.0 | 40.4 | | |
| | 14～15 | 44.5 | 47.3 | 43.8 | 41.3 | | | 44.2 | 47.9 | 43.0 | 40.3 | | |
| | 15～16 | 44.6 | 47.0 | 44.2 | 41.3 | | | 44.4 | 47.1 | 43.9 | 41.5 | | |
| | 16～17 | 45.9 | 48.4 | 45.4 | 43.0 | | | 45.3 | 48.3 | 44.5 | 41.5 | | |
| | 17～18 | 46.3 | 49.6 | 45.3 | 43.3 | | | 46.8 | 49.6 | 44.3 | 42.3 | | |
| | 18～19 | 44.8 | 47.6 | 44.0 | 41.9 | | | 43.0 | 46.3 | 41.9 | 39.5 | | |
| | 19～20 | 44.0 | 47.2 | 42.9 | 40.7 | | | 42.1 | 46.2 | 40.8 | 38.0 | | |
| | 20～21 | 42.3 | 45.8 | 41.2 | 39.5 | | | 40.4 | 43.7 | 39.5 | 36.3 | | |
| | 21～22 | 42.0 | 45.0 | 41.3 | 39.1 | | | 41.0 | 43.9 | 39.4 | 35.3 | | |
| 夜間 | 22～23 | 43.7 | 46.4 | 43.2 | 41.7 | 43 | 45 | 42.3 | 44.9 | 40.9 | 38.5 | 41 | 45 |
| | 23～0 | 42.3 | 45.5 | 41.1 | 38.9 | | | 39.7 | 43.1 | 38.6 | 34.3 | | |
| | 0～1 | 41.9 | 44.3 | 41.0 | 38.9 | | | 41.1 | 43.2 | 39.8 | 37.5 | | |
| | 1～2 | 41.3 | 43.2 | 41.0 | 38.9 | | | 39.1 | 41.8 | 39.4 | 33.7 | | |
| | 2～3 | 41.9 | 44.2 | 40.9 | 38.3 | | | 41.7 | 43.0 | 41.4 | 40.5 | | |
| | 3～4 | 43.1 | 45.5 | 42.7 | 39.8 | | | 41.0 | 42.7 | 40.6 | 39.1 | | |
| | 4～5 | 40.3 | 42.9 | 39.6 | 38.1 | | | 42.1 | 44.7 | 41.4 | 40.3 | | |
| | 5～6 | 44.8 | 47.1 | 44.4 | 43.0 | | | 41.8 | 43.4 | 41.5 | 40.3 | | |

※　測定年月日：平成 30 年 11 月 15 日～16 日

## ６　環境保全に関する主な出来事　（平成 30 年度）

| 日　付 | 主な事業及び出来事 |
|---|---|
| 7.25 | 親子わくわく環境講座「植物でアートに挑戦！夏の植物たたき染め」 |
| 7.26 | 食品衛生責任者養成講習会（食品衛生協会主催） |
| 7.27 | 荒尾市岩本橋「生物教室」開催（関川・諏訪川流域会議主催） |
| 8.9 | 親子わくわく環境講座「親子で楽しくエコキャンドル作り」 |
| 8.18 | 親子わくわく環境講座「かわレンジャー～身近な水辺探検隊～」 |
| 9.16 | カヌー体験＆ネイチャーゲーム（関川・諏訪川流域会議主催） |
| 11. 7 | 食品衛生責任者養成講習会（食品衛生協会主催） |
| 11.10 | 第 20 回よみがえる水と緑の環境フェア |
| 11.18 | エコタウンフェア・緑のカーテンコンテスト表彰式 |
| 12.13 | 浄化槽維持管理実務講習会 |
| 3.6 | 食品衛生責任者養成講習会（食品衛生協会主催） |
| 3.29 | 浄化槽補助事業説明会 |